

最近あるところで 3 人の新人に商品説明をしている場面に遭遇しました。その最後に一言と言われその時感じたことを話しました。

最大に感じたことは商品説明だけでは全く相手に仕事の意味が伝わっていないことです。その時話した内容は研修で教わったことと理念は車の両輪。言われたことだけをやらない。全ての仕事は誰かのお役に立つ為。

自分の仕事がどの様に役に立つのか、何で貢献するのか、何で成果を出すのかいつも考えて欲しい。日常の仕事を常に疑い改善点はないか常に考える。とかの話をしました。

さて、皆さんは新人が入社した時にどの様な話をしていますか。仕事の段取りだけを話したのでは、本当の仕事の引継とは言えません。

本当の仕事の引継は考え方です。

仕事の姿勢、仕事の意味、理念を引き継がなければ、仕事を教えたことにはなりません。最近レンタルの型の「辞める人から引き継がない」話をしていますが、実は型の話の根幹は考え方です。

多くの方々がレンタルに携わって頂いていますが、そのレンタルは作業が主体になっていますか？

それとも作業＋貢献が主体になっていますか？私たちの仕事は誰かのお役に立てるのが仕事のはずです。

ではレンタルにお伺いするとき目の前のお客様にどの様にお役に立てるのか考えていますか？1 人ひとりのお客様毎にお役の立ち方は違います。

お客様毎にキメの細かいレンタルを行ってますか？

話を「型」に戻します。入社してレンタルを引き継ぐときに、このレンタルの考え方を引き継がなければなりません、一朝一夕に考え方がスグ行動に結びつきません。

その為、「型」が必要になります。全ての新人が、又新人だけでなく、全てのレンタルマンがこの「型」を実践するのです。

そして「型」の奥底の仕事を通じて社会に貢献する。目の前のお客様に貢献することが、その後ろにある社会に貢献することに繋がります。

「型」の話は「辞める人から引き継がない」という単純な話をしていますが、実は株式会社ほづみのレンタルの考え方を根底から変更する思いが籠っています。

新人が型を覚えても、隣のレンタルマンが型を実践していなければどの様に思うのでしょうか。

仕事＝作業＋貢献はレンタルだけの話しではありません。全ての仕事に通ずる話です。

面接の段階でこの話をしていますか。朝礼、ミーティングの席で話をしていますか。

各店に仕事と理念は車の両輪、常に仕事の中に誰かのお役に立つ思いを抱えつつ、工夫し、模索し、常に考えて仕事が出来る環境づくりを是非とも浸透させたいと願っています。

今までこの様な内容をほとんど言い放しでしたが、今回の「型」をきっかけにして、常にチェックをしながら目的目標に向かって実現して行きたいと思えます。